

令和5年度 南区特色ある区づくり予算 委員提案一覧
(区役所企画事業)

番号	区分 (企画・提案)	事業名	提案委員名	担当課 担当部会	事業概要	対応 【実施する】【他の事業で実施する(している)】【実施しない】
1	企画	生活環境の保全及び安全なまちづくりのための空き地・空き家の実態把握	山坂 和夫	地域総務課 区民生活課 第1部会	<p>【目的】 地域住民が安心して暮らすためには、生活環境の保全のための空き地の把握と防犯対策のための空き家の把握が不可欠である。</p> <p>【内容】 令和3年度まで、南区組織目標の主な取組事業に「空き地の防犯対策等」が掲げられていたが、令和4年度には削除されている。南区では、空き家等が年々増加していると思われるので、むしろ対策を強化すべきである。空き家・空き地の適正管理や利活用を推進するためには、担当者が自ら現地に足を運び、状況把握に努める必要がある(空き家の中には解体しないと周辺に危険がおよびおそれがあるようなものも散見される)。現地調査を踏まえた所有者等への適切な指導・助言又は利活用に向けた取組を実施してもらいたい。</p>	<p>【他の事業で実施する】</p> <p>平成29年度から重点取組に掲げて実施してきた空き家の実態調査が完了したことから、今年度より通常業務へ移行しました。現地調査や住民への聞き取りなどにより蓄積した情報をリスト化し、防犯対策や適切な生活環境の保全、空き家購入希望者への情報提供など、広く区役所業務に活用しています。</p> <p>また、管理不全な空き家等(敷地、付帯構造物、立木など含む)を把握した場合は、「空家特措法」や「市条例」等に基づく現地調査を実施し、必要に応じて所有者等に対して、改善に向けた助言・指導などを実施しています。</p> <p>従いまして、山坂委員のご提案内容は、現行の業務内で対応可能と考えています。</p>
2	企画	健康づくり推進事業	笹川 和代	健康福祉課 第2部会	<p>【目的】</p> <p>【内容】 コロナ禍という現状もあり、特定健診受診率も伸び悩む今日。40歳から60歳までの働き盛りの世代の人間ドック等の補助金制度を設けてはどうか(5歳ごとの節目で)。農家や自営の方々の方々の人数も多い南区独自の特色ある制度になると良い。</p>	<p>【実施しない】</p> <p>ご提案は市全体に関する内容であるため、本庁担当課にも確認したところ、以下の回答でしたので、実施しません。</p> <p>特定健診は法律に基づいた健診であり、本市では総コレステロール、尿潜血、血清尿酸などの検査項目を追加実施しています。また、都合のよい時期と場所で受診できるように約300の医療機関に委託し、通年で実施しています。</p> <p>もちろん、様々な理由(検査項目が多い・がん検診も含め1日で受診できる等)により、人間ドックの受診を希望する方もいらっしゃいますので、人間ドック受診時に本市の受診券が使用できる医療機関を周知しています。今後も、受診券が使用できる医療機関が増えるように努めていきます。</p>
3	企画	まちなか循環ルート「ぐるりん号」の再検討	富井 敦	地域総務課 第1部会	<p>【目的】</p> <p>【内容】 免許返納者や高齢者の一部にとっては、生活や病院に必要との声も聞いていますが、白根の「まちなか」しか運行されてなく、停留所まで行くのに大変で行けない。利用者の調査(行先、人数、運賃0円など)、ルートを見直し、検討しての公共交通とする。</p>	<p>【他の事業で実施する】</p> <p>まちなか循環ルート「ぐるりん号」は利用者が年々増加しており、地域に浸透してきていると認識しています。</p> <p>バス停を増やし運行経路を延伸した場合、目的地に着くまでの時間が長くなり、必ずしも利用者の利便性向上に繋がらないと考えます。</p> <p>利用者ニーズの把握には継続して取り組み、他のルートなどと組み合わせながら、利便性の高い公共交通になるよう取り組んでいきたいと考えます。</p>
4	企画	白南中学校区内小学生ふるさとキャンプ(グラウンド)	関川 秀明	地域総務課 第2部会	<p>【目的】 3地区内(新飯田、茨曾根、庄瀬)の小学生が1泊2日のキャンプを行い、連携、協調、自立心を養い、困難に立ち向かう心を育てる。</p> <p>【内容】 新飯田小学校では50年前くらいから、夏休みに1泊2日でキャンプを実施しており、今年度も(コロナで中止だったが)3年振りに計画をしました。夏休みの暑い時期をはずして、9月末に開催します。</p> <p>2地区(茨曾根、庄瀬)には、まだ話をしていませんし、調整が難しいと思いますが、計画できたらと提案しました。</p> <p>※テント設営、飯盒炊爨、キャンプファイヤー、オリエンテーションなど</p>	<p>【実施しない】</p> <p>3地区に限定した事業ですので、特色ある区づくり事業の趣旨に合致しない部分があるかと思えます。「地域のみなさんによる自主的・主体的な活動の取り組みの促進を図り、豊かな地域社会を実現する」という趣旨の「地域活動補助金」を、活用していただけたらと思えますのでご相談ください。</p>
5	企画	思いやり運転ゾーン	関川 秀明	建設課 (教育支援センター) 第1部会	<p>【目的】 南区内小中学校の主なる通学路に思いやり運転ゾーンを設定し、子どもたちの通学の安全をはかる。</p> <p>【内容】 統一した標識もしくは看板を作成し、南区内の小中学校の主たる通学路に設置し、通過するドライバーに周知し、思いやり運転を促す。</p>	<p>【他の事業で実施する】</p> <p>南区では、平成26年に「通学路安全推進会議」を設置し、この時策定された「南区通学路交通安全プログラム」に基づき、毎年、区内小学校から危険箇所の点検を行っていただいています。その報告を基に推進会議と当該校等で危険箇所を確認し、安全対策を行っています。</p> <p>道路標識設置や路面標示なども進めており、今後もこの点検を継続して実施し、児童の安全を確保していきたくと考えています。</p>